

ぶどうだより

田園調布学園大学みらいこども園 5月号 2020年5月15日発行
ぶどう組担任：佐野・高橋・工藤・三ツ橋

新緑の青葉や、見上げた空の青さに心が和みます。風に乗って動く雲や飛ぶ鳥を見て、「あ〜っ！」と声を上げる子ども達。様々な出会いと発見があるようです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続いての登園自粛にご協力ありがとうございます。お子様は元気になっておられますか？皆さんの笑顔を思い浮かべながら、一緒に過ごす日を楽しみにしております。

保育のねらい

- 自分の思いを言葉や態度に表しながら、安心感をもって生活する
- 保育者や周りの子と関わりながら、好きな遊びを十分に楽しむ
- 身近な自然に触れながら戸外遊びを楽しむ

5月生まれのおともだち

★園内掲示をご覧ください★



今日は何が見つかるかな？

園庭に出ると、子ども達の興味を掻き立てるものがたくさん見つかります。「アリさんいるかな？」とじっと目を凝らし、見つけると「いたよ！」と指でアリの動きを追っています。巣穴に入っていく様子に、「お家いっちゃったね」「また来る？」と頭を寄せて話していました。にじ組さんが草花を摘んで花



束をつくっているのを見ると、同じ花を探して摘み始めます。摘んだ花が落ちないように確かめながら手のひらにのせていく姿に、自分で見つけた大切なもの！という気持ちが伝わってきました。また、集めたもの（花、石、桜の実など）を「ママにおみやげ！」と言い、『見つけた大切なもの』を見てほしい！という気持ちも感じられました。畑ではそら組さんが育てているスナップエンドウの実がどんどん大きくなっています。「おまめあった！」と触れてみると「しわしわしてる〜！」と手にした感触を言葉にしてみました。子どもの言葉はとても面白く、私も触ってみたい！という気持ちになります。そして「ほんと、しわしわだ〜！」と同じ感覚をもてたことに嬉しくなりました。



日々の遊びを連絡ノートでお伝えしていますが、「ん？これは何？」と思われる遊具の名称があるのではないのでしょうか。ここで、紹介させていただきますね！今月は、『園庭編』です！

○マルチパネ

カラフルな板状のパネルを子どもの動きや遊びに合わせて組み合わせています。

斜面をよじ登る・滑る



お家になってます！

○マルチパーツ（木製の板、L字型）

向きや置き方を変えることで、家になったり山になったりしています。

よいしょ！と運んできました。



バランスをとって歩く！



どちらも、自由に形や使い方が変えられるところが、子ども達の想像力を膨らませているようです！